

『一生懸命』幻の新座市議会報告第167弾!



たかむらともや

③ よいお年を!

2018年が終わろうとしています。

この1年、この「一生懸命」を手にしてくださったみなさん、ありがとうございます。特に朝の駅で「笑顔」で「ハイタッチ」と「ハグ」をしてくれたみなさん、暑い日に「冷たい飲み物」を差し入れてくれた方達にも感謝です。そして「ツーショット」に応じてくれたみなさん、本当にありがとうございました。新座市民ではないのに、いつもこの「一生懸命」を読んでもらっている都民のみなさんにも感謝の一年でした。ありがとうございます。小学生・中学生・高校生のみなさんにも感謝、感謝です。駅に立っていて、一番嬉しいのはみなさんのような「綺麗な目」をした子ども達に「笑顔」でこの一生懸命を受け取って貰った時です。

あなた方の綺麗な澄んだ目が、「教師時代」の子ども達と若い頃の自分を思い出させてくれるからかも知れません。この「一生懸命」が若いみなさんのこれからの人生に何か役に立つといいなあ……そう思いながら、これからも書き続けていきますね。

さて、日本の政治の世界は相変わらず、財界の為の富裕層の為の自民党政治が続いています。

「消費税増税」「水道民営化」「種子法廃止」「入管法改正」「農協改革」「TPP」に「米日FTA」どうしてもなく「グローバル化」に向かっている訳で、ボーっとしていると、庶民が富裕層に更に搾り取られる仕組みができてしまいます。

今回の移民政策＝「入管法改正」を急ぐのも、日本の将来を見据えてのことではなく、癒着している財界からの要求に応えようとしているのです。

2017年度だけで自民党への企業献金は24億円です。それだけでも安倍政権が誰の為の政権がハッキリ分かります。入管法改正に隠れていますが、「水道民営化」も恐ろしいことです。国民の命の源が企業の儲けの為に売りに出されているようなものです。

もし、外資に乗っ取られても文句を言えないのですから本当に恐ろしい。「規制緩和」も「自由貿易」もアメリカを中心とするグローバル企業からの要求であることをどうか、忘れないでください。

2018年12月31日発行



12月2日。五中陸上部女子が関東大会で初優勝しました。16日に行われる全国大会が今から楽しみです。勿論、今年も応援に行きます!!

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。
新宿区百人町では超有名な超悪ガキで成績も超悪かったので、PTAのおばちゃん達から嫌われていた。都立石神井高校

ではテニスだけしかせず、クラスでは最下位となる。北大時代もテニスしかせず、単位を落としまくり、結局、卒論を出さずに卒業。信じられないことに新卒で新座五中3年4組の担任となる。嘘でしょ!!

五中、六中でもテニスに燃え、関東で5回、全国で2回優勝するが、実は部活よりも「クラス」クラスよりも「授業」大切人間だった。(本当ですよん!)

現在は石神3丁目の「たかやん塾」で「個別対応」の塾をやりながら、月に一度7か所での駅立ちに燃えている。教師時代の口癖は「子ども達とサッカーが出来なくなったら、教師はやめる」だったが、今は「駅に立てなくなったら、議員はやめる」である。

好きな人物……神宮司久子・甲神岳・田中角栄・ホセ・ムヒカ・中村天風・河合隆慶・向後美佐子。

写真は保谷駅でいつも笑顔をくれる、一夫さんです。毎回名前を名乗ってくれるので助かります。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 2018年の笑顔1



たかやん塾の1期生、太陽です。この子の為に塾をはじめたと言っても過言ではありません。その太陽も成長して、立派なお父さんになりました。ひばりが丘での笑顔です

たかやん塾の卒業生の雅人です。中学生だった雅人も、もう大学4年生になりました。英語で伸び今年、公務員試験に受かりまくり、就職が決まった優秀な教え子です。



たかやん塾の卒業生の裕人です。たかやん塾で英語が好きになり、その後ずっと勉強を続けて、TOEICで910点も取ったそうです。師匠も頑張らねばなりません！！



六中テニス部だった夕美子です。今もテニスを続けてくれています。顧問としては、それが何より嬉しいです。いつか、夕美子とテニスができる日が来るといいなあ…。



五中4期生の千春です。僕が担任した初めての1年生ですから、それはもう可愛いなのって。

僕は24歳で千春達は13歳でした。あれから40年…気持ちは同じです。



どの駅に立っても教え子達と会えるのですからこんなに幸せなことはありません。五中、六中、二中、そして「たかやん塾」の教え子達に感謝！

③ 教師を目指す人へのメッセージ3

教師になって、一番最初のこと。それは子どもの名前を覚えることです。入学式、あるいは始業式の日までに、自分のクラスの子供達の名前は全員覚えなくてははいけません。これはもうプロとしては最低の条件です。

名前と顔が一致しない子供達を一日目で全員覚えるのは難しいようで簡単です。まずクラスの名簿を教室の1列ごとに区切って覚えます。何日かかってもいいから、とにかく暗誦できるまで正確に覚えます。それもファーストネームで覚えてください。

そこが味噌です。子供達を苗字で呼んではいけません。

そしてクラスの初日、子ども達を名簿順に座らせて、自己紹介をさせます。色々質問しながらこどもの表情をつかんでいきます。この時メモは取りません。意地でも頭の中に子供達の言葉を叩き込むのです。どうしても自信の無い人は記念にといってビデオ撮影するのもいいでしょう。とにかく、子ども達に先に自己紹介させるのがコツです。自分が観察される前に子ども達を観察する余裕が大切です。

そしていよいよ自分の自己紹介。僕はこんな風にやっていました。「俺の名前は高邑朋矢。あだ名はタカヤン。昔からそうだから、みんなもそうやって呼んでくれ。タカヤン！っていわれたら、あいよっ！ってこたえるから。」「本当？」「じゃあいってみな？」「タカヤン！」「あいよっ！」「タカヤン！」「あいよっ！」「タカヤン！」「もういいよっ！」

単純なことですが、入学式や始業式で初めて会った先生に自分の名前を覚えてもらうというのは子どもにとっては物凄く嬉しい事なのです。怒られるのではなく自分の顔と名前を覚えてもらったのだから、誰だってその先生を好きになりそうだと思います。その錯覚が大事なのです。こういうクラスは初日から笑顔が溢れます。クラスというのは笑顔でスタートして涙で終わらなくてははいけません。

1年間その子供達にどれだけ笑顔がプレゼントできるのか、そしてどれだけ自分が笑顔でいられるのが勝負です。クラスの第一歩は担任のちょっとした努力で素敵に歩になります。その努力を惜しんではいけません。大学を卒業したばかりでも、貴方はもうプロの教師なのですから…。 たかやん

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m